

熊本県後期高齢者医療広域連合
情報セキュリティポリシー

平成19年10月1日施行

【 目次 】

序 章	情報セキュリティポリシーの体系	2
第1章	情報セキュリティ基本方針	
1	目的	3
2	定義	3
3	適用範囲	3
4	職員等の遵守義務	4
5	組織体制	4
6	情報資産の分類及び管理	4
7	情報セキュリティ対策	4
8	運用	4
9	法令等の遵守	5
10	監査及び自己点検の実施	5
11	評価及び見直しの実施	5
12	情報セキュリティ対策基準の策定	5
13	情報セキュリティ実施手順の策定	5

序章 情報セキュリティポリシーの体系

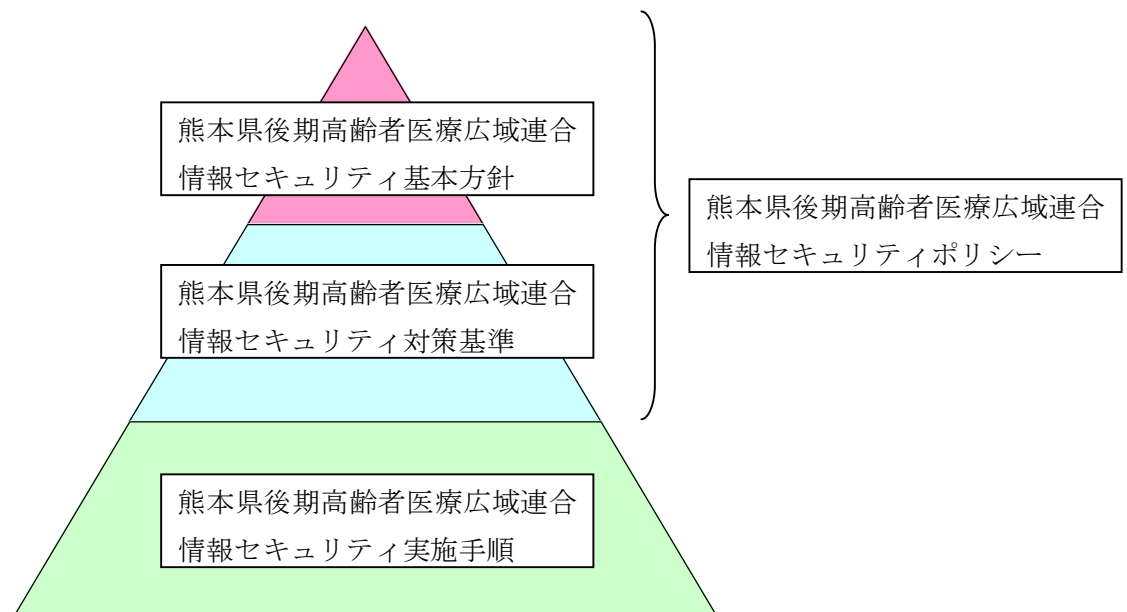
情報セキュリティポリシーは、熊本県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）が保有する情報資産に関するセキュリティ対策について、体系的・総合的に取りまとめたものである。

この情報セキュリティポリシーは、広域連合において情報資産に関わる全ての職員（嘱託職員、臨時職員及び特別職職員を含む。以下同じ。）に適用されるものであり、安定的な規範であるとともに、情報通信技術の進歩等に適切に対応することが必要とされるものである。

このため、広域連合においては、情報セキュリティポリシーを一定の普遍性を有する部分（情報セキュリティ基本方針）と、環境の変化等に対応する部分（情報セキュリティ対策基準）に分けて策定することとした。

なお、今後は情報セキュリティ対策基準に基づき、具体的な情報セキュリティ対策の実施手順を策定することとする。

[広域連合情報セキュリティ体系図]



第1章 情報セキュリティ基本方針

1 目的

本基本方針は、広域連合が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、情報セキュリティ対策の実施における基本的な事項を定めることを目的とする。

2 定義

情報セキュリティポリシーにおいて、次の各号に定める用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 職員等

広域連合において情報資産に関わる全ての職員（嘱託職員、臨時職員及び特別職職員を含む。）をいう。

(2) ネットワーク

コンピュータ等を相互に接続するための通信網、その構成機器（ハードウェア及びソフトウェア）をいう。

(3) 情報システム

コンピュータ、ネットワーク及び記録媒体で構成され、情報処理を行う仕組みをいう。

(4) 情報セキュリティ

情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。

(5) 情報セキュリティポリシー

本基本方針及び情報セキュリティ対策基準をいう。

(6) 機密性

情報にアクセスすることを認められた者だけが、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

(7) 完全性

情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保することをいう。

(8) 可用性

情報にアクセスすることを認められた者が、必要なときに中断されることなく、情報にアクセスできる状態を確保することをいう。

3 適用範囲

(1) 行政機関の範囲

本基本方針が適用される行政機関の範囲は、広域連合事務局、議会事務

局、選挙管理委員会事務局及び監査事務局とする。

(2) 情報資産

本基本方針が対象とする情報資産は、次のとおりとする。

- ① ネットワーク、情報システム及びこれらに関する設備、電磁的記録媒体
- ② ネットワーク及び情報システムで取り扱う情報（これらを印刷した文書を含む。）
- ③ 情報システム仕様書及びネットワーク図等のシステム関連文書

4 職員等の遵守義務

職員等は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、業務の遂行に当たっては、情報セキュリティポリシーを遵守しなければならない。

5 組織体制

広域連合の情報資産について、情報セキュリティ対策を推進する組織体制を確立する。

6 情報資産の分類及び管理

広域連合が保有する情報資産を機密性、完全性及び可用性に応じて分類し、当該分類に基づき情報セキュリティ対策を行う。

7 情報セキュリティ対策

情報資産がその目的に沿って適切に使用されるよう、情報資産への損傷、妨害等から保護するため、以下の情報セキュリティ対策を講じる。

(1) 物理的セキュリティ

情報システムの設置場所、通信回線等及び職員等のパソコン等の管理について、物理的な対策を講じる。

(2) 人的セキュリティ

情報セキュリティに関し、職員等に情報セキュリティポリシーを周知徹底する等、十分な研修及び啓発を行う等の人的な対策を講じる。

(3) 技術的セキュリティ

コンピュータ等の管理、アクセス制御、不正プログラム対策、不正アクセス対策等の技術的対策を講じる。

8 運用

情報システムの監視、情報セキュリティポリシーの遵守状況の確認、事件、事故等の報告及び対応等、情報セキュリティポリシーの運用面の対策を講じ

るものとする。

9 法令等の遵守

職員等は、情報セキュリティに関する関係法令等を遵守し、適切に職務を遂行しなければならない。

1 0 監査及び自己点検の実施

情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、必要に応じて監査及び自己点検を実施する。

1 1 評価及び見直しの実施

監査及び自己点検の結果、情報セキュリティポリシーの見直しが必要になった場合及び新たに対策が必要になった場合には、情報セキュリティポリシーを見直す。

1 2 情報セキュリティ対策基準の策定

情報セキュリティ対策の実施における具体的な遵守事項及び判断基準等を定めるため、情報セキュリティ対策基準を策定する。

1 3 情報セキュリティ実施手順の策定

情報セキュリティ対策基準に基づき、情報セキュリティ対策の実施における具体的な手順を定めるため、情報セキュリティ実施手順を策定する。

なお、情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより広域連合の運営に重大かつ深刻な支障を及ぼす恐れがあるため、非公開とする。